

第61回 伊丹市展

入選目録

会期：令和8年10月8日（木）～10月12日（祝・月）
午前9時30分～午後5時（最終日は午後3時まで）

会場：スワンホール3階（伊丹市昆陽池2丁目1 昆陽池公園の隣）

3 F 多目的ホール ＜洋画・日本画＞ ＜書＞	3 F 第7会議室 ＜デザイン・立体造形・工芸＞	3 F 多目的室2・3 ＜写真＞
----------------------------------	--------------------------------	------------------------

＜主催＞伊丹市教育委員会 伊丹市 ＜共催＞伊丹美術協会

＜後援＞朝日新聞阪神支局・神戸新聞社・産経新聞神戸総局
毎日新聞阪神支局・読売新聞阪神支局

●お問い合わせ **伊丹市立中央公民館**（第1・3月曜日休館/祝日の場合は翌平日）
〒664-0015 伊丹市昆陽池2丁目1（スワンホール1階）
（TEL）072-784-8000 （FAX）072-784-8001
（HP）<https://www.city.itami.lg.jp/SOSIKI/EDSHOGAI/KOMINKAN/index.html>

洋画・日本画

賞	氏名	作品名
伊 丹 賞	富永 利那	ふちの輪郭
市 長 賞	吉位 敬介	残光の記憶
議 長 賞	松井 靖	習作-89
教 育 長 賞	牧野 登	うたた寝
伊丹美術協会賞	藤田 道枝	深秋
神戸新聞社賞	森分 歌楽	雨
産経新聞神戸総局長賞	松原 浩子	Lian
毎日新聞阪神支局長賞	大久保 杏城	手品を添えて
奨 励 賞	田中 嘉一	哀しみのネフェルティティ
奨 励 賞	橋本 一子	晩餐会 不思議な仲間たち
奨 励 賞	平井 正典	春が来た！
新 人 奨 励 賞	池谷 優壱	選択
新 人 奨 励 賞	楠本 煌太	猛虎
入 選	浅田 誠子	心地よい空間
〃	荒木 保子	光芒
〃	池宮 康仁	桂離宮 生きる魂
〃	石井 康夫	破邪の炯眼
〃	稲嶺 伽玲	薬師瑠璃光如来
〃	岡村 明美	Women. fancy-free
〃	吉川 幸次郎	錦鯉の遊泳
〃	桑本 武雄	港
〃	甲野 賢	雨上がり
〃	河野 満	スポットライト
〃	小西 慶子	2人の道の話
〃	小林 勤	バイヨン
〃	近藤 圭一	茜空
〃	佐藤 晴奈	空へ駆ける
〃	砂田 泰司	アメリカ原風景 Route66 添乗の夢
〃	塚本 秀之	ふたつの疼き、不確かな形
〃	長澤 範子	夜の公園
〃	那由多 道	山霧月虎
〃	西山 方子	游ゆう

賞	氏名	作品名
入 選	野崎 孝子	吉祥天女
"	板東 弘憲	人生回想
"	藤田 眞央	Luster
"	蒔野 加代子	白のきせき
"	松尾 風花	けんか
"	松永 健一	相応
"	松本 裕志	港の作業船
"	松本 裕美	荒牧バラ園
"	村上 泰江	スロベニアのブリャナ古城
"	森本 高明	花火
"	八島 和也	安堵
"	山口 昭世	宇宙から来た酔っぱらい

塚本 文子 審査員

まず最初に、今年作品は昨年より魅力的な作品が多かったです。様々なタイプの出品があり、鑑賞者も楽しめる展示会となっています。

これからも色々な表現にトライしていただき、絵を楽しんでいただきたいと思います。そして、元気な新人の作品が来年はもっと増えることを期待します。

写真

賞	氏名	作品名
伊 丹 賞	青野 裕一	朝日を受けて、最後の大空へ< The Yellow Jet Forever >
市 長 賞	箕浦 貴之	嵐の花火大会
議 長 賞	阿部 信夫	strut
教 育 長 賞	今井 克弘	伊丹シティホテル最後の満月
伊丹美術協会賞	松本 真二	休日の解体現場
朝日新聞阪神支局長賞	宮下 忠明	暴れ神輿海入る
神戸新聞社賞	前川 博史	時を待つ場所
産経新聞神戸総局長賞	前田 幸生	荒波に舞う
毎日新聞阪神支局長賞	山田 純一	メルヘンロード
読売新聞阪神支局長賞	宇田川 洋二	風花
奨 励 賞	青木 明夫	夏まつりの夜

賞			氏名	作品名
奨 入	励 賞		畝村 豊明	My Favorite ITAMI「青空の特等席から」
			大橋 美千代	ステージの二人
			門脇 宏充	春国岱のまなざし
			田代 末勝	愛情交換
			田中 諭	月煌
			長谷川 善也	朝陽に染まる
			羽田 範子	タイムスリップ
			真鍋 智子	眼光
			森 小百合	逢魔が時のリボン
			矢敷 雅子	雨上がり
	選		安藤 由起子	陽光
			石津 顕	上手だろう
			泉 昭子	小さな一人前
			井之上 修三	歌舞音曲
			今田 裕	オレンジ色の浜
			岩井 健次	我々はどこに行くのか
			上嶋 孝博	奈落の底へ
			薄井 研司	翼をください
			遠藤 堅衛	オフィス街の昼下り
			大隈 明弘	Wild Cup 2026
			大原 国男	宙(そら)
			岡口 憲治	蒼の疾走
			岡本 武久	夕焼の流れ橋
			加藤 泰典	囲炉裏
			亀田 喜代子	終焉
			川中 いづみ	夕映えの頃
			北西 弘	火花散る
			熊崎 俊三郎	絶叫
			合田 伸一	朝の陽に
			小林 恭子	都市開発の町
			小南 健治	朝のしじま
			坂本 達治	打ち合わせ
			坂本 よし乃	森の中のヒロイン

賞	氏名	作品名
入	選	
	先山 美穂	初めての体験
"	島並 徹	龍の巣を避ける
"	清水 和男	張り込み
"	清水 和義	ゆるる色影
"	白形 俊彦	仲良し小好し
"	菅野 俊行	覚醒
"	菅原 和子	いたずらっ子
"	数藤 守治	陽光を浴びて
"	仙崎 幸子	バブルの向こう
"	武田 昇	輪回し
"	田阪 照夫	天空駅
"	田中 美和	旅立ち
"	なかにし 宏明	燐り
"	名越 章	夕映えを乗せて
"	成平 博	春秋同舟
"	野中 宏彦	瑠璃絵の夜
"	蜂谷 和子	ようこそ伊丹へ
"	羽馬 芳壽	Take Off
"	浜本 亜季	蒼穹の詩
"	平新 綾子	緑の水鏡
"	平田 剛	天空のコースター
"	藤岡 寛史	夜汽車
"	藤田 儀仁	Luce (光)
"	堀古 哲	道
"	松井 睦明	光の海へアプローチ
"	松井 千壽	漣
"	松井 宏友	桜ハイウェイ
"	松田 正康	出番前
"	松田 陽子	輝く視線
"	三浦 勝義	作業の足元
"	宮林 立江	昔ばなし
"	森本 雅浩	至誠の一射
"	矢敷 和臣	灼熱からの離陸

賞	氏名	作品名
入 選	安田 善八郎	染まる鉄橋
〃	山下 幸代	舞うように
〃	山辺 幸男	安全を運ぶ眼差し

松村 勲 審査員

甲乙つけがたい作品でした。審査は非常に難しかったです。ゆっくり拝見させてもらえば、次から次へと良い作品が出てきました。

写真というのは、写実と写意というのがあります。写実というのは、見た通り写す写真です。自分の技術はあまり入っていません。写意というのは、どこが気に入って切ったのか、それをできるだけ明確にしているのが写意です。今日の写真は審査員を困らせる写意的な写真が多くて良かったです。

書

賞	氏名	作品名
市長賞	井本 雅士	晝脂鏤冰
教育長賞	名嘉地 美津子	こころの様相
伊丹美術協会賞	寺田 亜紀	源氏物語 若紫
読売新聞阪神支局長賞	新田 彩華	落日 杜甫詩
奨励賞	宮澤 モリエ	浅みどり
入 選	明坂 多希子	讀萬卷書・行萬里路
〃	井筒 温子	依微香雨
〃	今入 隆子	常山蛇勢
〃	中島 悠媛	周啓詩
〃	西村 卓也	李白詩
〃	西村 碧珠	踏歌詞四首
〃	西山 祥玉	九成宮醴泉銘

※「伊丹賞」および「議長賞」は、該当がありませんでした。

谷野 成子 審査員

昨年より出品点数が大幅に減少しましたが、各ジャンルからの出品があり、すっきりした展示になりました。書は文字を素に創作しましたが、決して読むものではありません。書はその造形と線から生まれる構築性や流動性、力強さやさわやかさ、緩やかさや激しさ等を感じとる芸術です。しかし、作品の中での誤字・脱字は許されません。

書を学び表現することは一朝一夕にはいきません。日頃の勉強の積み重ねが大切です。美しいものを常に観たり触れたりして感性を養うことが、作品を観る人にも作る人にも大切なことです。

来年も線を鍛え、墨色、余白、潤濁等に工夫を加え、たくさんの作品を期待します。

デザイン・立体造形・工芸

賞	氏名	作品名
伊 丹 賞	岡村 ひとみ	象嵌線文花器
市 長 賞	長谷川 義治	丸壺
議 長 賞	FUJITA KINZOKU 所属 Ari	forno a microonde cornacchia
教 育 長 賞	市川 宏	練り込み象嵌大皿
伊丹美術協会賞	安田 正裕	華謳（ハナウタ）
朝日新聞阪神支局長賞	時任 眞弓	宙とぶ籠
入 選	阿部 武士	花いっぱいの花器
〃	片山 保幸	活躍するをんな
〃	黒正 純一郎	内なる天命の鼓動
〃	田中 大貴	All Right
〃	松原 知英子	備前の想い出

江尻 幹子 審査員

出品数が少なくなっており残念ですが、立体造形・工芸など質の高い作品もありました。受賞された作品はそれぞれ力作でした。アイデアを練って、オリジナリティあふれる作品を期待します。高校生・大学生の出品にも期待します。

審査員（５０音順・敬称略）

洋画 日本画	池本長蔵（伊丹美術協会） 塚本文子（日本美術家連盟会員） 辻 司（日本美術家連盟近畿 代表） 山田 毅（日本画家・金沢美術 工芸大学非常勤講師）	写真	垣村早苗（日本写真協会） 高島節二（日本写真家協会会友） 松村 勲（伊丹美術協会）
書	酒居石荘（伊丹美術協会） 谷野成子（兵庫県書作家協会） 山下啓明（日本書芸院）	デザイン 立体造形 工芸	馬川晴美（陶芸家・ 伊丹美術協会） 江尻幹子（元大阪芸術大学教授） 藤本貴洋（伊丹美術協会）

<第61回伊丹市展出品・入選状況>

	洋 画 日本画	写 真	書	デザイン 立体造形 工 芸	合 計
出品点数	5 4	1 1 3	1 6	1 5	1 9 8
入選点数	4 4	8 0	1 2	1 1	1 4 7

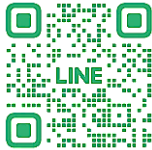
公民館のホームページ・LINE・Instagramはこちらよりアクセスが可能です↓

ホームページ



講座・イベントの申込みは
こちらから↑

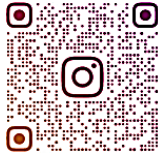
LINE公式アカウント



@333ejxwf

友だち
募集中

Instagram やってます♪



#伊丹市立中央公民館